

ISO14001の改善事例

ISO14001構築所社の環境改善の取組みの一部をご紹介します。

吉野川電線株式会社

ロボットケーブルの国内最大手である吉野川電線は、1998年12月に当社グループとして最も早く認証を取得しております。

環境方針に資源エネルギー及び産業廃棄物の削減を掲げ、今までに高効率な設備への更新等により、エネルギー消費量を25%削減、また、購入原料を袋詰めからフレコンバッグに変更させることによる梱包廃棄物の削減、製造工程から発生する廃棄物の減量化等により、廃棄物の25%削減を達成しております。

また、騒音を発生する設備を低騒音型への更新、騒音発生設備の移設などにより、近隣騒音対策にも取り組んでおります。



吉野川電線と現場の様子
(香川県高松市)



MCS社本社とTAB製造現場の装置
(山口県下関市)



(株)エム・シー・エス

液晶パネル、携帯電話、プリンターなどに欠かせない電子材料の一つであるTAB(Tape Automated Bonding)テープ製造の世界最大手として(全世界シェア50%以上)2002年10月に認証取得して以来、廃棄物削減、エネルギー削減の最も有効な方法である歩留まりアップを、品質、環境面の最重点課題として掲げ着実にその成果を得つつあります。

また、増産による産業廃棄物が増加する中、メッキ廃液のリサイクル等により、埋立廃棄物を2000年度基準に対し2003年度は25%削減しております。

今後も生産量の増加が見込まれますが、歩留まり向上、廃棄物リサイクル等により環境改善に取り組んでまいります。

三井串木野鉱山株式会社

我が国唯一の青化製錬により金・銀の製錬、電子部品スクラップ、貴金属メッキ廃液からの貴金属回収を行っております。

2003年5月認証取得とその活動の歴史は浅いものの、社員ならびに協力会社の環境に関する意識向上、客先からの環境管理に対する信頼向上等その効果は着実に上がっております。製錬薬品の系外への漏出を防止するための管理ならびに緊急事態対応等のシステムチックな管理、電力、燃料費、排水処理剤等の削減活動による経費の削減等の成果を得ております。



三井串木野鉱山とシアンを使用した
アルカリ電解剥離設備(鹿児島県串木野市)

